

環境施設見学研修会と環境学習会を終えて

9月7日(木) 犀川浄水場・清掃センター・グリーンピア千曲を巡る「環境施設見学研修会」が開催されました。各施設は自動化されていましたが、最終確認は、人の目と手でした。犀川浄水場では、きれいな水を作るには、自然環境の保全による水源確保が大切であることを学び、生活廃棄物処理場の清掃センターでは、分別のされてないゴミの選別は、人の手で行う事を知り、改めて分別のルールを守り、ゴミの減量化に努めることの重要性を学びました。更に、グリーンピア千曲では、微生物を利用した処理をしているので、布やビニール等水に溶けないもの、薬品類は絶対に流してはならないことは勿論、下水道への雨水の流入が微生物の活性を弱め、処理の低下を招くことを学びました。日常生活の中で、私たちの心配りと意識が、環境施設の効率を高め、費用の節減につながる事を知りました。

そして、環境施設見学研修会を通して学んだ「ゴミの減量化」を実践するべく「環境学習会！段ボール堆肥講座」が、9月17日(水)開催されました。6月に続き今年2度目の講座でしたが、施設見学研修会を経ての参加者は、成功体験発表を聞きながら、アドバイザーからの「段ボール堆肥の作り方とその効果」についての説明を真剣に受講し、ゴミの減量化への意欲・環境意識は、益々高まりました。(環境部会)



生ごみ減量！段ボール堆肥講座

清掃センターでの分別作業

「川の中の生き物ウォッチング」を行いました

10月5日(日)、本年度3回目の自然観察会を、「土京川」で行いました。当日、講師を務めた大村自然環境部長より「ホタルが生き続けている理由、人間は環境保全のために何をすべきか、どのようにかわっていくかを考える必要がある。また地道に活動を続けることで地域へも浸透させ、今後の活動(継続)につなげていきたい」との話がありました。

川の調査では、採取した水と検査薬を混ぜ、その反応(色の変化)により「きれいさの程度」(4階級：Ⅰきれい、Ⅱ少しきたない、Ⅲきたない、Ⅳ大変きたない)を確認しました。土京川は、階級Ⅱの「少しきたない」に該当し、有機物を多少含む水質でした。

検査結果：

- ①pH7.5 ②COD(化学的酸素要求量)2
- ③アンモニア0.2 ④亜硝酸0.005
- ⑤硝酸0.2(川の上流)及び0.5(川の下流)
- ⑥リンサン0.1

土京川は、真水に比べ生物の餌となる有機物を程よく含む、ホタルの幼虫、カワニナ、その他生き物が共存できる環境にあるといえます。ちなみにホタル(幼虫)が餌とする「カワニナ」は、石や流木などに生える藻、落ち葉、泥や砂の中の有機物、水に落ちた昆虫などを食べています。

ホタルの舞は今や限られた地域(水辺)でしか見ることができませんが、参加した皆さんと現にホタルが生息する土京川で自然観察ができ、貴重な体験となりました。

(自然活用部会)



ホタル(幼虫)の飲む水はきれいかな?

若槻自然遺産候補地見学会のお誘い

第4回：稲田地区とその周辺

以前、浅川は稲田地域あたりで天井川となっていました。河川改修によって大きく様変わりしました。かつて一帯に広がっていた「田んぼ」は埋め立てられ、区画整理が進み新しい住宅が増えています。そんな新興住宅街に昔の面影を尋ねてみませんか。皆さまの参加をお待ちしています。

日時：12月13日(土) 9時～12時

集合場所・時間：若槻支所 9時までにお集まりください。

見学予定地：稲積一里塚の赤松 稲田のエノキ 浅川親水公園他

注1) 乗合車で現地を回りますが、一部徒歩移動があります。歩きやすい履物と服装でおいでください。

注2) 配車の都合がありますので12月9日(火)までにコミわか事務局までお申し出ください。
コミわか事務局：TEL/FAX：266-0034

尚、第3回見学会を11月22日(土)の自然観察「昭和の森公園でバードウォッチング」と同時開催します。見学対象は昭和の森公園です。

午前7時までに昭和の森公園フィットネスセンター前にお集まりください。10時終了予定。

申込と持ち物等の詳細については「コミわか広場」第51号(10月15日)をご覧ください。

(自然活用部会)



稲積一里塚の赤松は弘化年間に植樹されたものと伝えられています。